

日本は世界的にも高い学費でありながら、給付制奨学金制度もない特異な国になっていることをどうするか。  
 貧困と格差の根源となっている低すぎる最低賃金をどうするか。

日本共産党は、これらの問題について「学費・奨学金の抜本改革、最低賃金の抜本引き上げ」の提案を発表しました。

★国立も、私学も、10年間で学費(授業料)を半減する  
 ★月額3万円(年間36万円)の給付制奨学金を70万人に支給  
 ★いますぐ、どこでも時給1000円にして、15000円をめざす  
 ※詳しくは日本共産党のホームページをご覧ください

どなたでも参加できます

青年のつどい



- 4月17日(日)** 「学費・奨学金の未来を考えるシンポジウム」  
 さいたま市文化センター多目的ホール南浦和駅西口徒歩10分  
 14時～16時30分
- 5月 8日(日)** 「日本共産党青年支部、民青同盟主催 パーベキュー交流会」  
**場 所** 日本共産党東部北地区委員会 久喜市栗原333-1
- 5月15日(日)** 「若者憲法集会」  
**分科会** 10時30分～12時 千代田区有楽町周辺の各施設  
**全体会** 13時30分～15時30分 有楽町朝日ホール  
**デモ** 16時30分～18時

お問い合わせ 日本共産党東部北地区委員会まで ☎0480-22-9296



▲安倍政治を許さない。5野党が決意表明。

さいたま市大宮区の鐘塚公園で3月6日開かれた『安保関連法廃止！立憲主義を取り戻す3.6オール埼玉総行動』には、一万人を大きく超える県民が集

まり、憲法違反の戦争法(安保関連法)を必ず廃止させようとの熱気にあふれました。  
 日本共産党、民主党、社民党、生活の党の野党の代表が出席して決意表明。維新の党もメッセージを寄せました。  
 衆議院議員で日本共産党の殺田恵一、国対委員長は「安倍政治を許さない、野党は共闘の声に心えて5野党が立ち上がりました。選挙に勝ち、戦争法を廃止させるため、政党の違いを乗り越え、共同してたたかう」と力強く訴えました。



女性や高校生、大学の准教授ら6人の市民が

私は、自衛隊が海外へ行き、武力の行使をすることは断固として反対です。みなさんは、自分の命が守られている裏で人が死ぬことをどう思いますか。もしかしたら一般市民が巻き添えになるかもしれません。自衛隊員は死ぬかもしれないのです。死は無条件に悲しみを生みます。そこに真の平和はあるのでしょうか。  
 過去、世界大戦において多くの尊い命が奪われ、そこには多くの死がありました。時がうつろいでも、あの空はずっと我々の頭上にありつづけます。あの空は過去、何を見てきたのでしょうか。そして、今、何を見て、将来我々に何を見せてくれるのでしょうか。みなさんの描きたい空を今回の参議院選挙の一票に託してください。



高校2年生 17歳 M君のスピーチ

戦争法必ず廃止。埼玉総行動に一万人。高校生も壇上で発言、大きな拍手に。